



The Y's Men's Club of Gotemba

第356号 1月例会

- 国際会長主題 「信念のあるミッション」(恵を数えよう)
 アジア地域会長主題 「愛を持って奉仕をしよう」(まず自分から始めよう)
 東日本区理事主題 「原点に立って、未来へステップ」
 富士山部部長主題 「みんなで参加・みんなで奉仕」
 御殿場クラブ会長主題 「広めよう地域社会にワイズを」
 御殿場クラブ活動方針 1.会員相互の親睦を深めると共に地域へのPRを行う。
 1.各地域への奉仕活動の積極参加
 1.DBCの交流を深めると共に太クラブとの交流も進める
 1.更なる会員増強

会長	杉山 将己
副会長	前原 未子・鎌野 泉
書記	渡邊 芳子
会計	高橋 啓子
監事	高杉 寿徳

2016年1月度3クラブ合同例会プログラム

時間	2016年1月14日(木) 18:30より	
場所	東山荘 講堂	
受付	高橋 Ys, 稲葉 Ys	
司会	前原 未子 Ys	
1	点鐘	3クラブ会長
2	開会の言葉	沼津クラブ
3	ワイズソング	前原 未子 Ys
4	ワイズの信条	前原 未子 Ys
5	聖句について	大和田浩二 Ys
6	会長挨拶	杉山将己会長
7	ゲスト・ビジター紹介	杉山将己会長
8	沼津クラブ会長挨拶	大村貴之会長
9	三島クラブ会長挨拶	長沢禎文会長
10	富士山部部長挨拶	久保田康正部長
11	食前感謝 卓話	金光京子 Ys
12	文学作品から見た 明治・大正・昭和の御殿場	歴史研究家 鎌野 茂枝
13	誕生日・結婚記念日祝い	
14	スマイル・YMCA 基金	各クラブ報告
15	各クラブ委員会報告	各クラブ報告
16	閉会の言葉	三島クラブ
17	閉会点鐘	杉山会長

今月の聖句

「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。」
 マタイによる福音書第4章4節

他クラブ例会日一覧です。

例会日程、時間、場所の変更がありますので、例会参加の場合は長田ドライバー委員長へ連絡の上、ご出席下さい。

- 熱海クラブ 1月25日(月) 熱海後楽園ホテル
 沼津クラブ 1月14日(木) 東山荘
 伊東クラブ 1月11日(月) 暖香園ボウル
 三島クラブ 1月14日(木) 東山荘
 下田クラブ 1月18日(月) 下田東急ホテル
 熱海ガロリー 1月27日(水)
 熱海後楽園ホテル・熱海青少年センター
 富士クラブ 1月13日(水) ホテルグランド富士
 富士宮クラブ 1月26日(火) クリスタルホール『パテオン』

1月お誕生日おめでとう

- 2日 野木朗江パートナー 5日 前原未子 YS
 28日 高杉満代パートナー 31日 前原和敏パートナー

1月ご結婚おめでとう 自己申告して下さい。

12月例会報告

在籍数	24名	メネット	1名	スマイル報告	21,000	BF活動切手	0pt
出席者	15名	コメント	1名	スマイル累計	463,000	現金	0pt
メキップ	9名	ゲスト	9名	YMCA基金	5,785	累計	0pt
出席率	62.5%	ビジター	7名	YMCA累計	252,932		
修正出席率	100%	出席者合計	33名				

年賀状考

井田伸太郎

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

また、メンバーの皆様方御家族が健やかに過ごされますようお祈りいたします。

何て形苦しい挨拶は置いといて…メンバーの皆様方は年賀状がたくさん届きましたか？

宛名はパソコン印刷ですか？文面は？矢張り印刷ですか？一言もないと？少し味気ないですね…

暇を見つけて？いろいろと調べてみてはいかがですか？そんな暇はないかな？

先ず宛名は？パソコン印刷・それとも手書き？
文面は？印刷のみ・印刷＋一言・全て手書き・写真入り…

ちなみに私は数年前までは印刷屋に依頼していましたが、パソコン教室に通って年賀状印刷が出来る様になり・文面はパソコン印刷です。

宛先は手書きで・文面に一言付け足しています。写真入りはまだ技術がそこまで行っていません！

年に一度の交流も楽しいものです。
いよいよ1年間のスタートです・楽しい有意義な日々でありますように！

12月18日 東山荘感謝会には、御殿場クラブ会員を含めワイズ関係からは25名の出席がありました。

会に先立ち、バザーを行いました。売り上げは活動資金といたします。

また、1月2日には東山荘にて、年末年始家族パーティーに参加の全国のワイズメンとともに、「東山荘ワイズ」が行われました。全部で30名ほどの出席があり、5万円を東山荘100年募金に寄付することができました。

(東山荘 滝口)



理事通信より



松本クラブ「アジア賞授賞式」 日本YMCA同盟研究所所長 大和田 浩二（御殿場クラブ）

12月13日(日)、松本市梅風閣を会場に、1999年より毎年行われている、松本クラブ主催のアジア賞の授賞式が開催されました。これは、松本市内のアジアからの私費留学生を対象に日本語小論文を募集し、この中から最優秀1点、優秀2点、佳作5点、特別賞2点を選考し、奨学金を授与するもので、受賞者の10名を含めて約50名の参加者が集まって行われました。

第1部の授賞式に引き続き、第2部では松本大学の尻無浜博幸教授による「松本ワイズメンズクラブ『ローカルなボランティア活動』」と題しての特別講演、これに引き続き留学生を交えての交流会がとり行われました。

今回は、これまでの故伊藤義則ワイズを記念しての伊藤賞と共に、山梨YMCA特別賞が新たに加わり、山

梨YMCA名誉主事として私から授与させていただき、まだYMCAのない長野県への期待を将来に望ませまし
右：山梨YMCA特別賞の張明瑶さん（中国）
た。また、特別講演の尻無浜教授は、かつて東京YMCAのスタッフであったということもあり、長野県のYMCA人脈の一端もうかがうことが出来ました。受賞者の中から現松本ワイズメンバーも生み出している、地方都市の松本で営々と行われているこのアジア賞は、地域におけるグローバル・国際的な活動として、まさにワイズ・YMCAが取り組むべきものであると言えます。





御殿場ワイズの定番？クリスマス例会・歌声広場

大和田 浩二

2015年12月12日(土)午後2時からスタートした短縮版の通常例会の後、午後3時より東山荘1号館第1会議室を会場に、歌声広場が始まりました。今年はピアノ伴奏に横浜ジャム音楽院長の宮澤隆さんという豪華なスタッフを迎え、そして何と言ってもギターを引きながら歌声広場全体をまとめて下さる小山哲夫さんの話術とテンポの良さに、本当に引き込まれていい気持ちで歌いまくった歌声広場でした。選曲も、かなり懐かしい歌からクリスマスソング、英語のバラードまで、本当に幅広く誰もが口ずさめる歌ばかりでした。

休憩をはさんで1時間半でしたが、あつと言う間のように感じた歌声広場の後は、2階の記念館食堂を会場にクリスマスパーティーの開始です。今回は、最初の通常例会から富士五湖クラブの方々が何と7名も最後までご出席いただき、大変なごやかで華やかなクリスマスパーティーとなりました。



いつもながらですが、今回も本当に特別かと思うように美味しい長田チーフ渾身のディナーを心行くまで食べながら、プロジャズピアニスト宮澤隆さんによる極上のジャズナイト。東山荘記念館食堂がしゃれた一流ジャズレストランに変貌したようで、極上のひと時

でした。御殿場ワイズの雰囲気ピッタリ・・・？。昨年もワイズクリスマスに参加された高橋さんのお姉さん(?)やお友達からは、「昨年が本当に至福の時だったので、是非今年もと思って」とのうれしい感想が聞かれました。

さて、今回は少し余興を、ということで、富士五湖クラブの宴会部長(と望月前部長がおっしゃってました)三浦さんにゲーム指導を急きよお願いしたところ、まさに水を得た魚のごとくとはこのことか、というように、楽しいゲームに一同捧腹絶倒、涙を流して笑い転げました。また、この後に富士五湖クラブの原さんより、素晴らしいクリスマスプレゼントが全員に。本当に富士五湖クラブとの絆が深まったと思えたひと時でした。御殿場クラブの皆さん、1月の富士五湖クラブ新年例会を始め、様々な形で交流を促進しましょう。

演奏者も含めて33名の参加をいただいた御殿場ワイズメンズクラブクリスマス、満ち足りた気持ちで終えることができたことを、全ての方々に感謝したいと思いました。





原点に立って、
未来へステップ

■今月の強調目標

IBC/DBC

2015-2016 年度
東日本区理事通信
第 7 号
2016年 1月1日発行

理事メッセージ 東日本区理事 渡辺 隆

明 けておめでとうございます。
お聴きまで、2015～16年度の半期を皆様のご協力をいただき大過なく進めることが出来ました。各部の部会、クラブ周年事業に出席させていただき、多くのことを学ばせて頂きました。クラブ・部の規模に関わらず、ワイズに限らず知識・能力豊かな方々に接することができ感謝申し上げます。
幸福三説について、次のことが書かれていました。
一つには「惜福と言う自分に与えられた福を使い尽くしてしまわずに、天に預けておく、そして、この惜福の工夫を積んでいる人が不思議とまた福に遇う」
二つ目は「分福と言って自分一人の幸福はあり得ない、周囲を幸福にすることが、自らの幸福につながる」
三つ目は「積福と言って将来にわたって幸せであり続けるように、今から幸福の種を蒔いておくこと」と説かれています。
まさに多くのワイズメンがこの幸福に心掛けられ、ワイズの奉仕活動はこのような幸福論に基づいているように思えました。
今年度東日本区会員は902名のスタートでした。各クラブ会長・会員の皆様、そして各部部長のご努力をいただき半

期で39名の新会員を迎えることが出来ました。
去る12月11日～15日にはアジア地域の次期理事研修会そして年次会議が韓国・インチョンで開催されました。東日本区から利根川次期理事と共に出席させていただきました。東西日本・台湾・フィリピン・スリランカ区での会員減少が報告され、東日本区については、アジア会長より、「20人以下のクラブを20人まで会員を引き上げて欲しい」「解散したクラブを蘇らせてほしい」「新クラブを設立してほしい」などのお願いがありました。そして、アジア地域は本年8月4日よりSOP(サウスパシフィック)地域が加えられ、Asia Pacific 地域となることが報告されました。
また、東日本区地域奉仕事業の「CS写真コンテスト」を紹介したところ、アジア会長から、アジア地域すべての区でこの「CS写真コンテスト」を行なうことが決定されました。奮って、この活動を推進願います。
最後に、次期アジア会長Tung-Ming Hsiao(タン・ミン・シャオ)さんから今年8月に台北で開催される国際大会へ参加依頼のアピールがされました。台湾とIBC締結をされているクラブはぜひ積極的に参加してほしいとの依頼を受けました。
3月には次期会長研修会が開催されます。6月の東日本区大会に向けた準備も大詰めとなってきました。ぜひ、皆様のご協力をいただけますようお願いいたします。

アジア会長メッセージ アジア地域会長・国際議員 エドワード・KW・オン

親 愛なる渡辺理事様、ご要望のとおり、理事通信へのメッセージを喜んでお送りいたします。
2015年が過ぎ、我々は希望と期待をもって、果敢に2016年の新しい年を迎えようとしてしています。ワイズ年度としてはちょうど半期が終わったところです。個人のゴールとともに、クラブ、部、区では、それぞれのゴールや目標を達成したと言えますか？
2016年6月に現在の任期が終了するまで、6か月弱あります。私たちは、すべてのゴールを達成し、成功裏に終えることを望みます。仕事をよりよくするには、より多くの努力をすることとよいチームワークが求められます。よいチームワークは、目標やゴールの共通理解、協力、各自の最善の努力から生まれます。
コリントの教会への手紙の中で、パウロは、体のどの部分も重要であることを覚えなさいと教会員に諭しました。体内では調和と、お互いへのいたわりがなければなりません。時にはより強い部分が、弱い部分を助けることも必要です。(コリントの信徒への第一の手紙12章12節～26節)
ですから、各クラブの中でも、メンバーはともに働き、お互いにいたわり合わなければなりません。そうすることにより、YMCAのサービスクラブとして、個人や家族のレベルから、身近なコミュニティ、自国そして外国のコミュニティへの



いたわりや奉仕が広がります。そして、部、区、アジア地域のそれぞれのレベルで、このいたわりや共有の概念が拡大されることになります。
東日本区は、アジアの中で強い地区の一つです。ですからより弱い地区を助ける必要があります。手を取り合って、我々のアジア地域をより強くしなければなりません。より強くするということは、会員数の増加、新しいクラブの設立、また財政の強化にかかっています。各メンバーが誇りを持ち、友人、隣人、同僚、家族に、我々の組織のメンバーとなるよう紹介することを楽しまなければなりません。各メンバーとご家族にとって新年が豊かで幸せに満ちた、よい年となるようお祈りいたします。我々は一つであり、連帯していることを常に覚えてください。(訳:利根川次期理事)